

「岩手県自殺対策アクションプラン(令和6年度～令和10年度)」(案)の概要

1 計画の構成

これまでの構成を基本としながら、令和4年10月に閣議決定された**国の新たな自殺総合対策大綱**を踏まえて整理しています。

第1章 計画策定の趣旨等

- 1 計画策定の趣旨
- 2 計画の位置づけ
- 3 計画の期間

第2章 岩手県における自殺の現状

- 1 自殺者数・自殺死亡率の推移
- 2 自殺者の性別・年齢階級別の状況
- 3 職業別の自殺の状況
- 4 原因・動機別の自殺の状況
- 5 年齢、職業、原因・動機との関連
- 6 死因別順位における自殺の状況
- 7 保健所別の自殺の状況
- 8 自殺未遂の状況
- 9 同居人の有無による自殺の状況
- 10 東日本大震災関連自殺の状況
- 11 新型コロナウイルス感染症の新規感染者数の状況

第3章 これまでの取組

- 1 官民一体となった取組
- 2 包括的な自殺対策プログラムの普及
- 3 市町村や民間団体への財政的支援
- 4 推進体制の強化
- 5 岩手県こころのケアセンターの取組

第4章 自殺対策の基本認識と基本方針

- 1 自殺対策における基本認識
- 2 自殺対策における基本方針

第5章 自殺対策の取組の方向性

- 1 包括的な自殺対策プログラムの実践(久慈モデル)
- 2 対象に応じた自殺対策の推進
- 3 地域特性に応じた自殺対策の推進
- 4 東日本大震災津波の影響への対策
- 5 相談支援体制の充実・強化

第6章 自殺対策の目標と重点施策

- 1 目標
- 2 計画の推進体制とそれぞれの役割
 - (1) 推進体制
 - (2) それぞれの機関に求められる役割
 - (3) 連携・協力
- 3 重点施策
 - (1) 地域レベルの実践的な取組への支援を強化する
 - (2) 県民一人ひとりの気づきと見守りを促す
 - (3) 自殺総合対策の推進に資する調査研究等を推進する
 - (4) 自殺対策に係る人材の確保、養成及び資質の向上を図る
 - (5) 心の健康を支援する環境の整備と心の健康づくりを推進する
 - (6) 適切な精神保健医療福祉サービスを受けられるようにする
 - (7) 社会全体の自殺リスクを低下させる
 - (8) 自殺未遂者の再度の自殺企図を防ぐ
 - (9) 遺された人への支援を充実する
 - (10) 民間団体との連携を強化する
 - (11) 子ども・若者の自殺対策を更に推進する
 - (12) 勤務問題による自殺対策を更に推進する
 - (13) 女性の自殺対策を更に推進する
 - (14) 被災地における包括的な支援により自殺を防ぐ

第7章 評価及び見直し

別表

いわて県民計画(2019～2028)
第2期アクションプランー政策推進プラン(令和5年度～令和8年度)における
関連指標の一覧

参考

自殺対策関連事業一覧表

「岩手県自殺対策アクションプラン(令和6年度～令和10年度)」(案)の概要

2 計画策定の趣旨等(第1章関係)

計画策定の趣旨、位置づけ、計画期間について記載しています。

◆ 策定の趣旨

現行の「岩手県自殺対策アクションプラン(H31～R5)」の計画期間が令和5年度をもって終了することから、令和6年度を始期とする次期自殺対策の計画を策定

◆ 計画の位置づけ

自殺対策基本法第13条第1項に基づき定める自殺対策計画

◆ 計画の期間

令和6年度から令和10年度までの5か年

3 岩手県における自殺の現状(第2章関係)

本県の自殺の現状を、令和4年までのデータを中心に各種統計データに基づいて整理しています。

【現行プランとの主な変更点】

◆ 自殺者数の推移

年齢階級別自殺者数、職業別自殺者数について、5年ごと(H25～H29、H30～R4)の比較を記載

◆ 新型コロナウイルス感染症の新規感染者数の状況

- ・ 新たな自殺総合対策大綱の「基本認識」に、「新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえた対策の推進」が追加されたことを踏まえ、本県の新型コロナウイルス新規感染者数の状況等を記載
- ・ 新型コロナウイルス感染症の流行が自殺に及ぼす影響の指針の一つとして、新型コロナウイルス感染症対応休業支援金・給付金の支給状況及び生活福祉資金(特例貸付分)の貸付状況を記載

4 これまでの取組(第3章関係)

本県のこれまでの取組について整理しています。

【現行プランとの主な変更点】

◆ 岩手県こころのケアセンターの取組

こころのケアセンターにおける相談件数の推移(H24～R4)を記載

「岩手県自殺対策アクションプラン(令和6年度～令和10年度)」(案)の概要

5 自殺対策の基本認識と基本方針(第4章関係)

新たな自殺総合対策大綱において示された「4つの基本認識」「6つの基本方針」に、本県独自に設定した「災害によるリスクに対応した包括的な取組」を加え、「7つの基本方針」として整理しています。

【現行プランとの主な変更点】

◆ 基本認識

新たな自殺総合対策大綱の「基本認識」に、「新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえた対策の推進」が追加されたことを踏まえ、新たに基本認識を追加

- ・ 自殺は、その多くが追い込まれた末の死である
- ・ 年間自殺者数は減少傾向にあるが、非常事態はいまだ続いている
- ・ 新型コロナウイルス感染症などの新たな感染症の発生及び拡大の影響を踏まえた対策の推進 (新規)
- ・ 地域レベルの実践的な取組をPDCAサイクルを通じて推進する

◆ 基本方針

新たな自殺総合対策大綱の「基本方針」に、「自殺者等の名誉及び生活の平穩に配慮する」が追加されたことを踏まえ、新たに基本方針を追加

- ・ 生きることの包括的な支援として推進
- ・ 関連施策との有機的な連携による総合的な対策の展開
- ・ 対応の段階に応じたレベルごとの対策の効果的な連動
- ・ 実践と啓発を両輪として推進
- ・ 関係者の役割の明確化と関係者による連携・協働の推進
- ・ 自殺者等の名誉及び生活の平穩に配慮 (新規)
- ・ 災害によるリスクに対応した包括的な取組 (本県独自)

「岩手県自殺対策アクションプラン(令和6年度～令和10年度)」(案)の概要

6 自殺対策の取組の方向性(第5章関係)

「基本認識」「基本方針」を踏まえ、5つの方向性として整理するとともに、評価指標について記載します。

◆ 包括的な自殺対策プログラムの実践(久慈モデル)

＜評価指標＞

- ・ 県内市町村における包括的な自殺対策プログラムの実践率 : 令和10年度までに100%

◆ 対象に応じた自殺対策の推進

＜評価指標＞

- ・ 県内事業所・団体への出前講座の参加者数(毎年度) : 1,200人以上
- ・ 保健、医療、福祉、教育、労働等の従事者を対象とした自殺対策教育や研修会の実施状況 ※ 数値目標は設定しない

◆ 地域特性に応じた自殺対策の推進

＜評価指標＞

- ・ 自殺対策に取り組む市町村・民間団体への技術的支援回数(令和2年度からの累計) : 令和10年度までに332回以上

◆ 東日本大震災津波の影響への対策

＜評価指標＞

- ・ 被災地における健康づくりや傾聴サロン等の事業参加者数(毎年度) ※ 数値目標は設定しない

◆ 相談支援体制の充実・強化

＜評価指標＞

- ・ 県及び市町村が実施する自殺予防の担い手(ゲートキーパー等)養成研修受講者数(令和元年度からの累計) : 令和10年度までに42,359人以上
- ・ 県及び市町村が実施する心のサポーター養成研修受講者数 : 令和10年度までに●回以上 (目標値については次期保健医療計画と整合性を図る)

「岩手県自殺対策アクションプラン(令和6年度～令和10年度)」(案)の概要

7 自殺対策の目標と重点施策(第6章関係)

自殺対策の目標について記載するとともに、目標を達成するための重点施策及び主な取組事項について整理しています。

◆ 目標

「一人でも多くの自殺者を防ぐ」

当面の目標として、令和10年の自殺死亡率が14.4(自殺者数169人)以下となることを目指す

◆ 重点施策

【現行プランとの主な変更点】

新たな自殺総合対策大綱の「重点施策」に、「女性の自殺対策を更に推進する」が追加されたことを踏まえ、新たに重点施策を追加

- | | |
|---------------------------------|-----------------------------------|
| (1) 地域レベルの実践的な取組への支援を強化する | (8) 自殺未遂者の再度の自殺企図を防ぐ |
| (2) 県民一人ひとりの気づきと見守りを促す | (9) 遺された人への支援を充実する |
| (3) 自殺総合対策の推進に資する調査研究等を推進する | (10) 民間団体との連携を強化する |
| (4) 自殺対策に係る人材の確保、養成及び資質の向上を図る | (11) 子ども・若者の自殺対策を更に推進する |
| (5) 心の健康を支援する環境の整備と心の健康づくりを推進する | (12) 勤務問題による自殺対策を更に推進する |
| (6) 適切な精神保健医療福祉サービスを受けられるようにする | (13) 女性の自殺対策を更に推進する (新規) |
| (7) 社会全体の自殺リスクを低下させる | (14) 被災地における包括的な支援により自殺を防ぐ (本県独自) |

8 評価及び見直し(第7章関係)

第6章で整理した重点施策の取組状況、目標の達成度等の評価について記載します。

◆ 本県におけるPDCAサイクルによる自殺対策の推進

- ・ 地域の実態に即した自殺対策アクションプランの策定(Plan)
- ・ アクションプランに基づく施策の実施(Do)
- ・ アクションプランの数値目標、施策の効果や課題を検証(Check)
- ・ 検証結果を踏まえたアクションプランの見直し、施策の改善(Action)

「岩手県自殺対策アクションプラン(令和6年度～令和10年度)」(案)の概要

9 これまでの検討状況

時 期	項 目	備 考
令和5年10月19日	第1回自殺対策計画推進・評価部会(※1)	素案について協議 (部会意見について、素案に反映)
令和5年11月17日 ～12月16日	素案に係るパブリック・コメント	(パブリックコメント等の意見について、原案に反映)
令和6年1月	第2回自殺対策計画推進・評価部会	原案について協議(書面開催)
令和6年1月15日	岩手県自殺総合対策本部会議	
令和6年1月29日	岩手県自殺対策推進協議会(※2)	原案について協議

(※1) 自殺対策計画推進・評価部会: 岩手県附属機関条例第7条第1項第5号の規定に基づき設置する、岩手県自殺対策推進協議会の部会。

(※2) 岩手県自殺対策推進協議会: 岩手県附属機関条例第2条第1項の規定に基づき設置する協議会。県内49の関係機関・団体で構成。

【パブリックコメント等意見について】

① 意見総数 4件(4名)

内訳) パブリック・コメント 1件(1人)

精神保健福祉審議会 3件(3人)

② 対応状況 全部反映 0件、一部反映 0件、趣旨同一 1件、参考 2件、対応困難 0件、その他 1件

10 今後の予定

- ・ 令和6年2月中 最終案作成
- ・ 令和6年3月18日 岩手県議会2月定例会 環境福祉常任委員会で最終案を報告
- ・ 令和6年3月下旬 岩手県自殺対策アクションプラン策定